



▼8月9日
伊予地区で第6分団が優勝



「伊予地区ポンプ操法大会」は、伊予市のしもなだ運動公園で開かれました。
大会は、小型ポンプの部とポンプ車の部の2種目で競われ、本町消防団は日ごろの成果を十分に発揮。小型ポンプの部では、第6分団(横田・大溝・永田・東古泉班)が優勝、第5分団(神崎・鶴吉班)が第2位に、ポンプ車の部では、第2分団(宗意原・新立班)が第2位に輝きました。

▼8月2日
虫干祭で徳丸一座が熱演



徳丸一座(八城秀樹座長)の第20回公演は、高忍日賣神社で行われ、大衆時代劇「5年目の約束」が上映されました。
この日のために練習を重ねた座員は、力のこもった演技と舞台演出を見せ、観客を魅了。上映後、拍手喝采を浴びました。これを受け、徳田文化部長は「地域のおかげで20年間できた。これからもできるだけ続けていきたい」と話していました。

▼7月25日
自然の大切さを学んだよ



「松前町子ども環境学園 2015」の自然観察会は、ビオトープ「エミフル」で開催されました。
観察会では、まちづくり塾の平井屯さんがシロツメクサの特性を講義したほか、ビオトープに生息している生物や植物を探すゲームをしました。
学園生は「散策は楽しかった」「生物や植物を大切にしたい」と話し、身近な植物を散策する楽しさと、守っていく大切さを再認識していました。

▼7月3日
ヘルメットを着用しよう



伊予高等学校と伊予農業高等学校の生徒は、伊予署員と国道56号線の役場前交差点付近で、正しい自転車の乗り方など、安全運転を呼び掛けました。
これは、7月1日から始まった県立高校生の自転車ヘルメット着用義務化を受け行ったものです。呼び掛けには本町のマスコット「おたたちん」も登場。「Let's Put On!! (かぶりましょう)」の看板を持って、運転者の意識を高めていました。

▼8月14、15日
東古泉でお盆の百八燈



東古泉地区のお盆の行事「百八燈」は、東古泉共同墓地で行われました。
この行事は、愛護部を中心に行われている伝統行事です。夕暮れどき、子どもたちが一つ一つ丁寧に百八つの皿に火を灯すと、たくさんの人が墓地を訪れます。灯された火で線香をつけお墓参りをするので、14日は故人を迎え、翌15日は同様に故人を送っていました。

▼8月8日
夏の夜の怖いおはなしかい



「夏の夜の怖いおはなしかい」は、文化センターで行われました。
これは、月に一度ふるさとライブラリーで行われているものの特別版で、今回は、「ふしぎなお客」の怖い話やブラックパネルシアター「くじゃくの花火」など耳で聞く話を中心に実施。参加した子どもたちは、暗くした部屋の中でゾクとした話を楽しみ、暑い夏を少しだけ涼しく過ごしました。

▼7月26日
満開の中で「中川原ひまわりまつり」



中川原の恒例行事「ひまわりまつり」は、ひよこたん池公園周辺で開かれ、中川原住民をはじめ、多くの人が訪れました。
会場では、太陽が照りつける夏空の下、満開に咲いたひまわりの写生大会や演芸などを実施。ビアガーデンも開かれるなど、終日にぎわいを見せました。祭りを通じて、ひまわりだけでなく、訪れた人の笑顔も満開となっていました。

▼7月23日
国体に向け競技式典専門委員会を開催



えがお愛顔つなぐえひめ国体松前町実行委員会の「第1回競技式典専門委員会」は、文化センターで開催されました。
平成29年に開催の国体に向け、大会を円滑に運営するため、施設整備、競技用具整備、競技運営実施、競技役員などの編成の要項を審議し、承認されました。今後は炬火イベントや式典の内容を検討し、計画や要項の策定準備を進めます。